

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あすなるクラブ神埼		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 10日		～ 令和8年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 10日		～ 令和8年 2月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの特性やペースに合わせてスケジュールを組んでいる。 構造化された環境設定なので落ち着いて過ごすことが出来る 	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントやモニタリング等で個人に応じて必要な個別支援アイテムなどがあれば、保護者様と共有しながら準備している。 その日の児童の状況や特性に対応してスケジュールを組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報は職員全体に周知し、話し合いを密におこないつつながら児童にあったアイテムを準備している。 前回の支援内容や児童の様子を朝礼やアセスメントシートで共有する
2	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的な提示を徹底している。 聴覚過敏等への配慮をし、声掛けが多くならないよう職員全員が配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい玩具等を取り入れた時は、写真を撮り、玩具リストに提示して、要求しやすい環境を作っている。 視覚支援カード・タイムタイマー・個別スケジュールで見通しがもてる環境作りを配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員全体で取り組んでいる。 支援内容の共有をし、職員全体で支援内容を整えている。
3	<ul style="list-style-type: none"> 職員一人ひとりが利用者に寄り添う支援を心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼等で気になる事があれば、話し合い、情報共有をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援や特性について社内研修をおこなっている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動で体を動かすスペースがない 	<ul style="list-style-type: none"> 室内が狭い 	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容に散歩等の外出活動を取り入れ、体を動かせる活動も取り入れるようにしている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの空間を作るのが難しい。聴覚過敏の利用者のクールダウンする空間が作れない。 同日利用が3人利用になると活動しにくい 	<ul style="list-style-type: none"> エリアスペースを工夫して過ごしやすいようにしている。 個々の活動が重ならないように担当職員で考慮しながらスケジュールを組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 室内の空間環境を整える。
3	<ul style="list-style-type: none"> サービス提供時間が午前中みの為、ニーズに沿わないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 多機能型事業所のため、放デイご利用者様との兼ね合いで現在のサービス提供時間になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人員確保のため、積極的な求人活動や広報活動を行う。 保護者様のニーズに合わせて、今後サービス提供時間の変更も視野に入れる。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 あすなるクラブ神埼

公表日 令和8年 4月 1日

利用児童数 4名

回収数 4世帯

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	2				利用児童に応じて構造化を実施し、安心して取り組めるように支援しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2			2	実際の指導の場にはないので分からない。	児童の特性に応じて人数配置を行なっています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3	1			短時間利用の中で本人に合わせた計画を取られていると思います。	本人が心地よく過ごせるように支援を行なっています。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3	1				利用児の特性に応じた支援を行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3			1		支援プログラムに沿って支援を行っています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	1				面談時に丁寧な説明を行っています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	1				個人の興味や課題に合わせ、活動設定を行っています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	1		2	1		ご希望があれば可能な範囲での交流の機会作りを考えていきます。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					契約の際の面談時に丁寧に行っています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					面談時に行っています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1		1	2		ご相談があれば、相談機関の紹介や情報提供ができることを積極的に周知していきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	4				毎日活動記録ありがとうございます。	連絡帳にてその日の活動を伝えています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	1	1		必要に応じていただいています。	定期的に行なっています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4				時間をかけていただいています。	児童の特性に合わせた支援を行なっています。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		2	1	まだそういう機会がありません。	今後検討していきたい。	
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3			1		迅速、適切に対応するように心がけていきます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4			LINE等でいただいています。	連絡帳や通信を通じて行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3		1		通信等を通じて行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2		2	訓練があっているかわかりません	マニュアルを周知し、定期的を実施、公表している。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2		2	訓練があっているかわかりません	定期的に実施し、公表しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3		1		契約時に丁寧な説明をし、個別の配慮が必要な場合は疎遠計画書へ記載していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3		1	まだないがされると思います。	迅速に適切な説明を行ないます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4			子どもが楽しいと言って通っているので間違いのないと思います。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4			とても楽しみにしています。ありがとうございます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	4			いつもありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あすなろクラブ神埼		公表日		令和8年 4月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	4	全体的に狭い為、エリアスペースを工夫して過ごせるようにしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		特性や状況によって2人体制で配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	構造化によりエリアを確立し、安心して過ごせるような環境づくりを行っている。	バリアフリー化は出来ていないため、様々なケースに対応できる環境を作る必要がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	毎日の清掃は欠かさず行っている。玩具の消毒等も定期的に行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		エリアスペースを工夫して過ごせるようにしているが、スペースに限りもある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			業務遂行表を活用し、計画性を持って持って業務を行う。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者とのコミュニケーションをこまめにとり意向を把握するように努めている。	回収したアンケートのご意見は事業所で周知を行い、改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		個別課題など、他職員と朝礼等で共有したり、チェックシート等を使用している。	朝礼の際に意見を言いやすい環境を作っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		今後検討していきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	個人的に研修を受けている。連絡協議会などを通して、様々な研修を行っている。参加メンバーの偏りもある。	職員間で要望があれば、研修の機会を増やしていきたい。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		定期的に保護者との面接を行いニーズや課題を聞いている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		定期的にモニタリング等を各職員に行い検討している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		支援会議等で職員間で共有しおこなっている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	日々の申し送り等で確認し、事業所のアセスメントシートでの確認も行っている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		理解度や成長度に合わせて、楽しめるような活動を計画している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	2		利用児童の特性により、固定化する際もあるが、職員同士で話し合いながら、工夫している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		子どもの特性に応じて行い作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	毎日の朝礼で、担当や引継ぎ留意事項を説明後、支援にあたっている。	1日の予定を確認し、利用者が落ち着いて過ごせるように連携を取っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	ケース記録を確認し、その日の様子や支援内容について確認している。一部職員は早めに勤務終了となる為、振り返りが後日になる。	ケース会議等の時間を設け、全体で共有できるように計画を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	ケース記録を確認し、その日の様子や支援内容について確認している。	個別のチェックリストを使用し、全スタッフが分かるようにしている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	2		個別支援計画書に基づいた評価表を活用し、広い視野で支援にあたって行きたい。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児発管が参加し、情報は事業所で周知をおこなっている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		支援会議等で共有し、おこなっている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		今後検討していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		電子ツールの連絡帳や電話にて、日頃の様子を伝えている。	帰りの送迎の際も状況を見ながら伝えている。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		情報があれば保護者にも共有していきたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	2	契約時におこなっている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1	定期的に面談を行い設けている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		保護者との面談を設けている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	定期的ではないが連絡帳等で、やり取りしている。また、電話での相談等も対応している。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2		感染症により休止していたが、要望があれば再開の検討をおこなう。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		通信やSNSを通して活動の様子を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			通信やSNSに顔写真を掲載する際は、承諾を得ているか、名前は写っていないか等、細やかなチェックをおこなう。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		地域との交流がない為、機会があれば活動計画に取り入れ保護者への周知をおこなう。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		契約時の説明や保護者への事前連絡により、迅速な対応に繋がっている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		定期的におこなっている。 勤務の都合上、全職員が参加できるわけではないが、後日共有している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		見学时・契約時に書類に記載していただき、日頃においても状況変化等があればすぐに確認できる連絡体制を取っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		今のところ該当者はいない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		定期的に訓練を実施している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		事例がある都度、職員間で共有している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		毎年虐待防止研修に参加し、職員間での周知をおこなっている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			現在対象児童の利用はないが、契約時に事前説明を徹底しておこなう。	